



Hand-in-Hand

GO！いじめストップ係 1

人間関係の中での様々なトラブルは、場合によっては、どう人と接していったらよいかをふり返り、知り、改善していく経験であるともいえます。しかし、人の尊厳を傷つけるような行為はいじめです。子どもたちが、いじめを受ける、いじめる、周りではやしたてる、見て見ぬふりをする、どの立場にもならないようにしていきたいと思っています。本校では、そのために『いじめストップ係』を全学年、全学級におきました。子どもたち一人一人のいじめをなくすことへの意識を高め行動できるようにしていくのがねらいです。

* 6年生 *



< 6の1：5月係の実践内容 >

6年1組は、男女各2名ずつ計4名、6年2組はこれに学級委員2名を加えた計6名を係にしています。月ごとに出席番号順に全員がこの係を担当します。学級委員は前期、後期と替わりますが、その任期中は全て担当します。いじめストップ係としての活動は、子どもたち自身が創意工夫して進めます。6年生がこれまでに進めてきた活動を紹介します。

- ◎いじめストップのポスターを制作する。(6年1組)
- ◎誕生日会を開催する。(6年2組)
- ◎ふわふわ言葉・チクチク言葉を皆で拾い出し、日常的に言葉遣いに注意する意識を高める。
- ◎クラス会議を実施する。

これは、学級内の問題で、皆で話し合いたいと思うことを無記名で議題箱に入れ、それについて子どもたち自身で話し合い、解決していく活動です。子どもたちがもつ悩みや不安を学級全体で考え、失敗から学ぶということも意図して取り組んでいます。毎週実施しており、いじめストップ係が進めることもあります。

クラス会議では、会議の始めに友だちのがんばっている姿、感謝の姿、よいと思う姿などを伝え合う時間を設けています。6年1組では「絆タイム」、6年2組では「ともあり(友だちにありがとう)」とよんでいます。自分たちのことを自分たちで決めることができる楽しさに夢中になっている様子が見られ、「いち友最高!」「早くいち友やろうよ」「CMやるよ」※といった声が聞かれます。「男女仲良くするにどうしたらよいか」「いじめられて友だちが信じられなくなったらどうしたらよいか」などいろいろな議論が出ています。実際に両クラスとも、仲良くなるゲーム集会などふれあい活動を実施しました。議題に対して各々、いろいろな考え方や思い出を出し合うことで、自分の気付かなかった考え方にふれて視野を広げたり、友達を理解することにつながったりしています。



< 6年2組のいじめコーナー >



< 制作したポスターを掲示して >

※ 『いち友』：6年1組のクラス会議名称

※ 『CM(クラスミーティング)』：6年2組のクラス会議名称